

低炭素社会戦略センター 10周年記念シンポジウム

パネルディスカッション
『明るく豊かなゼロエミッション社会』のまち・暮らし



47億トンをはこぶ！

西濃運輸株式会社
営業本部担当 兼 情報システム部担当
専務取締役 高橋 智

事業概要

企業間物流
取扱量

No. **1**

トラック
ターミナル拠点 **683** 拠点

年間
車両走行距離 地球 **15,972** 周



情報関連事業、住宅販売業、建築工事請負業、タクシー業および労働者派遣業などを行っています。



セイノグループが所有しているトラックターミナルや店舗の跡地などを賃貸しています。



岐阜県でトヨタ「カローラ」 「ネット」の乗用車を販売し、岐阜・滋賀両県で日野自動車のトラック・バスを販売。お客様の車両の修理・メンテナンスも行います。



ガソリンなどの燃料販売、紙・紙製品販売、携帯電話 docomo ショップ運営などを手掛け、自動車部品販売や物流関連機器販売などを行っています。



日本初の長距離路線開発や総合物流商社としてのビジネスモデルを確立するなど、企業間 (B to B) 貨物輸送で業界トップシェア。商品の検査や流通加工業務も手掛けます。国際貨物輸送も通関手続きから輸出入、海外の集荷・配達まで一貫して提供します。

現状の取組み

CO₂低減へ向けて

トラックターミナル



鉄道コンテナ

約64%削減



ダブル連結トラック

約36%削減



ハイブリッド車 (大型車)

約15%削減

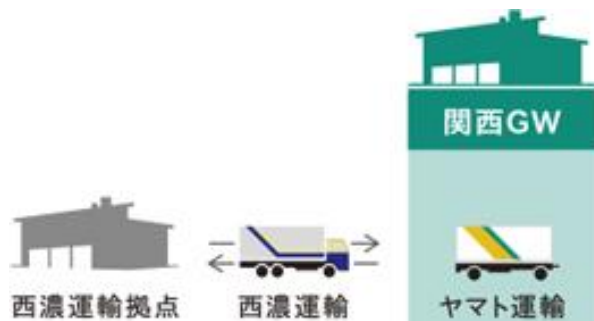


ダブル連結トラックの共同幹線輸送

国土交通省「物流総合効率化法」認定

国土交通省「貨客輸送連携省エネルギー計画」認定

単独運行より
CO₂を約36%削減



ロジ・トランスの展開

配送レス
(環境対応)

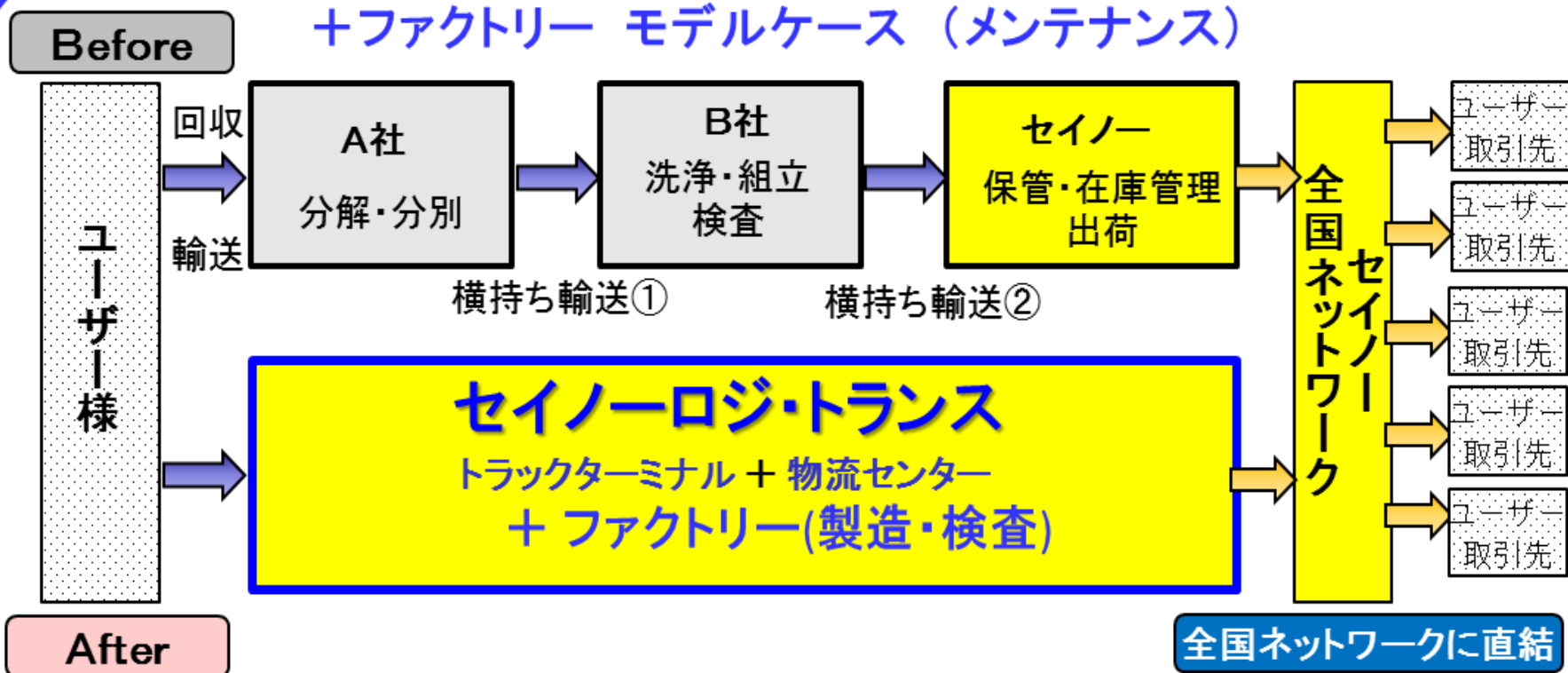
集荷レス
(環境対応)

人材の有効活用
(労働力不足対応)

全国ネットワーク
に直結



+ファクトリー モデルケース (メンテナンス)

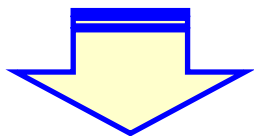


国内の貨物輸送量

2018年度
国内貨物輸送量

472,748万トン

※宅配便 43億701万個

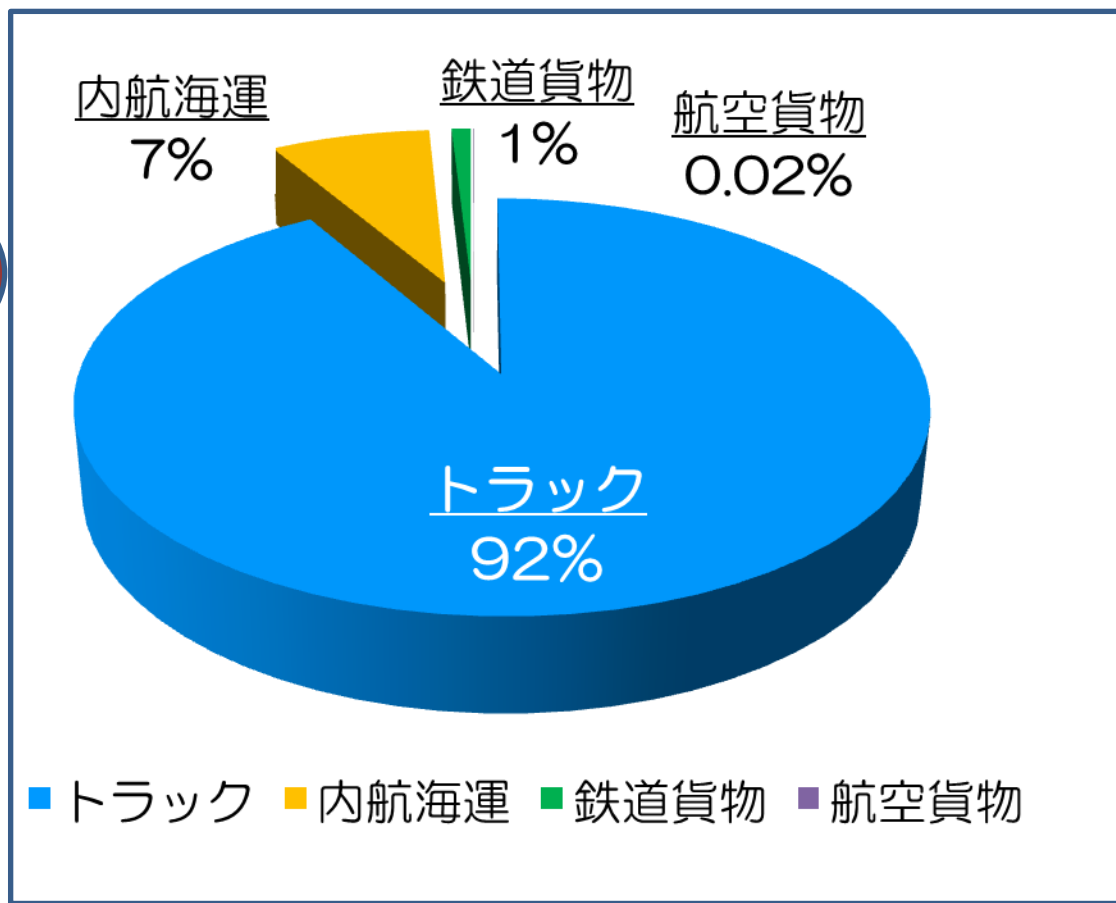


1日あたりの貨物輸送量
約1,300万トン

約92%がトラックで輸送

●貨物車 1,438万台

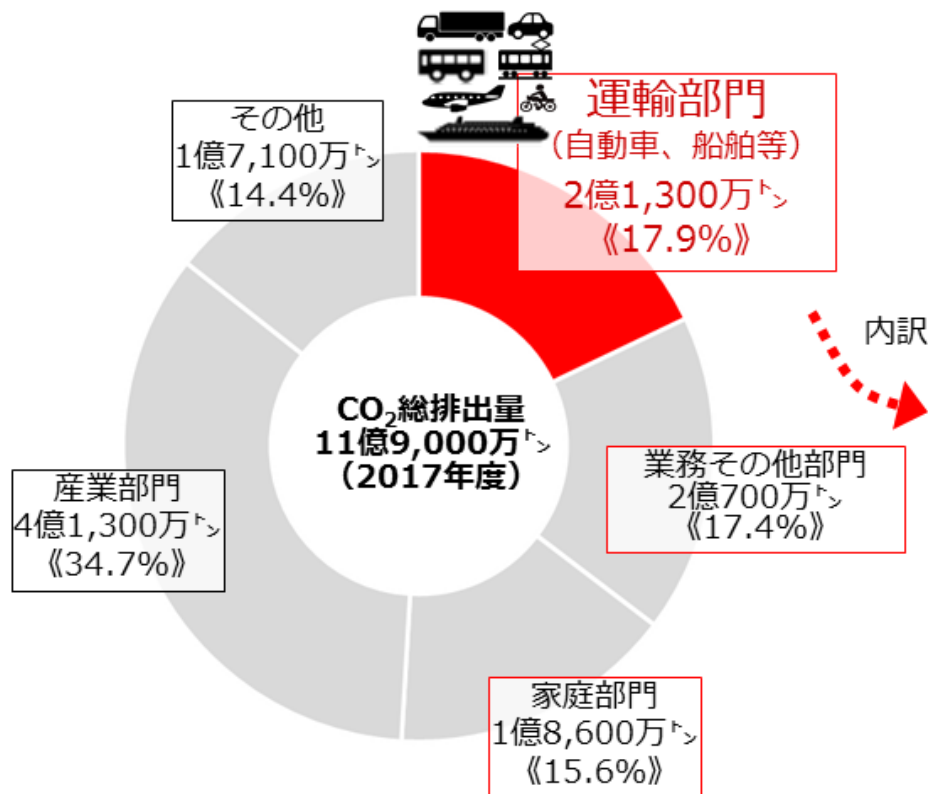
※2018年度 自動車検査登録情報協会より



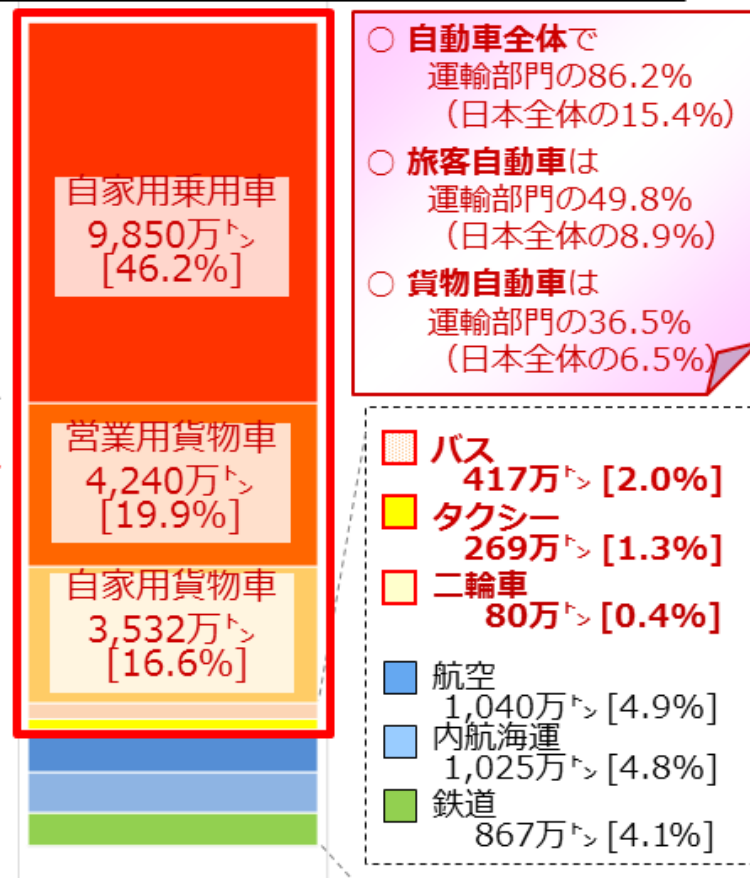
ゼロカーボンへ向けて

運輸部門における二酸化炭素排出量

我が国の各部門におけるCO₂排出量



運輸部門におけるCO₂排出量



※ 端数処理の関係上、合計の数値が一致しない場合がある。
 ※ 電気事業者の発電に伴う排出量、熱供給事業者の熱発生に伴う排出量は、それぞれの消費量に応じて最終需要部門に配分。
 ※ 温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2017年度）確報値」より国交省環境政策課作成。
 ※ 二輪車は2015年度確報値までは「業務その他部門」に含まれていたが、2016年度確報値から独立項目として運輸部門に算定。

社会的課題

方向性

アウトカム

1 少子高齢化/人口減少

2 ラストワンマイル問題

3 燃料高騰/資源有限

4 地球温暖化

5 人口集中

6 グローバルボーダレス化

7 国内貨物減少

8 産業構造変化

⋮



- ・ 既成概念にとらわれないイノベーションの推進
- ・ 輸送だけでは無い事業の確立
- ・ 保有アセットの解放

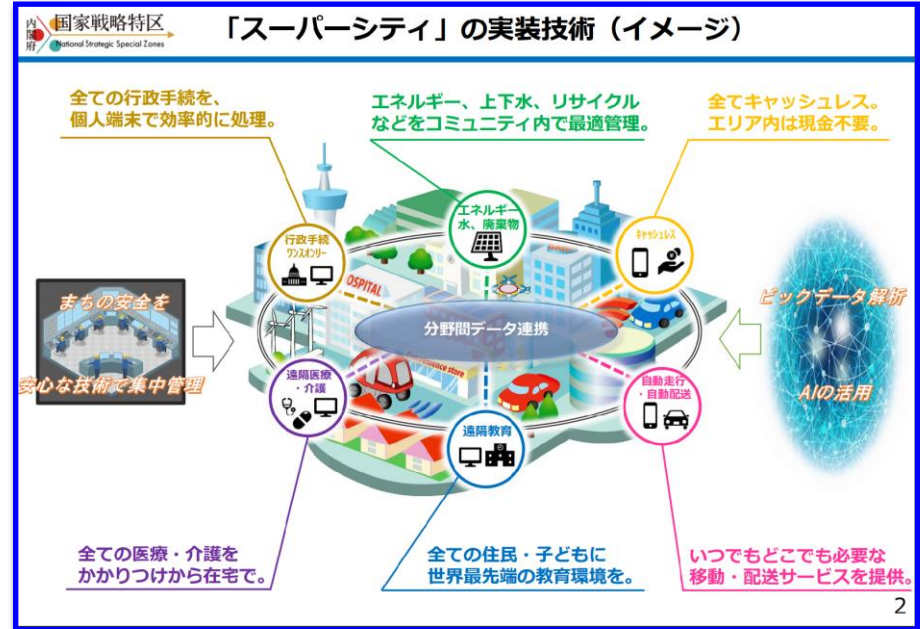
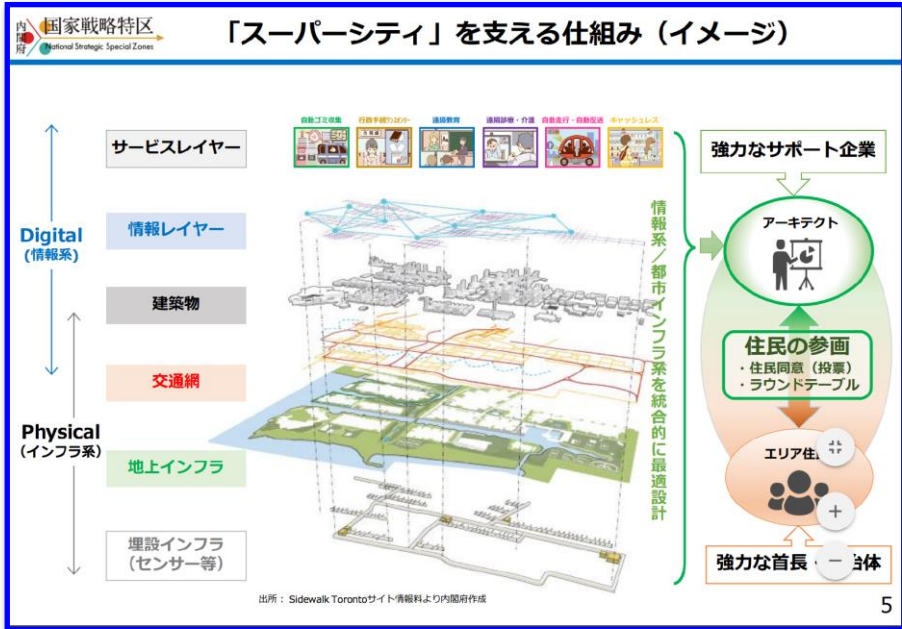


- ・ スタートアップ
- ・ 社会企業家
- ・ 大手企業など他社
- ・ 大学
- ・ 地方自治体

⋮

価値創造

「スーパーシティ」 構想



※「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会 資料より

遠隔医療、移動・配送サービスのスマート化。

他地域に先駆けて空域を開け、スーパーシティの下地を創る。

(航空法等の規制を解除し、ドローン運用を推進)

ドローンによる輸送 実証検証

お買いものサービス

「陸上輸送 + ドローン輸送」(下関市)
(トラック)

← 2.5 km →



商品受取場所

B



ドローン発着場

A



—取組み団体—

下関市、(株)リテールパートナーズ、(株)丸久、(株)トルビズオン、
組合林業(株)、セイノーホールディングス(株)、ココネット(株)、
エアロセンス(株)、ソフトバンク(株)

ロボットとの共生の社会へ

ロボットを通じて提供する様々な社会問題の解決

